

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成22年9月2日(2010.9.2)

【公開番号】特開2009-37497(P2009-37497A)

【公開日】平成21年2月19日(2009.2.19)

【年通号数】公開・登録公報2009-007

【出願番号】特願2007-202430(P2007-202430)

【国際特許分類】

G 0 6 Q 50/00 (2006.01)

【F I】

G 0 6 F 17/60 1 2 6 A

【手続補正書】

【提出日】平成22年7月16日(2010.7.16)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第1の施設において、複数の臨床検体分析装置から送信される臨床検体の測定結果を管理する第1の測定結果管理装置が、上位のコンピュータから、複数の測定項目を含む第1の測定オーダを受信する工程と、

前記第1の測定結果管理装置が、前記測定オーダに含まれる測定項目の全てが前記第1の施設において測定可能か否かを判断する工程と、

前記第1の施設において測定できない測定不可項目が前記第1の測定オーダに含まれている場合に、前記測定不可項目を含む第2の測定オーダを、前記測定不可項目の測定が可能な第2の施設に配置された第2の測定結果管理装置に送信する工程と、

前記第2の施設において、前記第2の測定結果管理装置が、前記第2の測定オーダを受信する工程と、

前記第2の施設において、前記第2の測定オーダに含まれる前記測定不可項目を測定する工程と、

前記第2の測定結果管理装置から、前記測定不可項目の測定結果を、前記第1の測定結果管理装置に送信する工程と、

前記第1の施設において、前記第1の測定結果管理装置が、当該測定結果を受信する工程と、

を含む測定結果管理方法。

【請求項 2】

第1の施設に配置され、複数の臨床検体分析装置から送信される臨床検体の測定結果を管理する第1の測定結果管理装置と、

第2の施設に配置され、複数の臨床検体分析装置から送信される臨床検体の測定結果を管理する第2の測定結果管理装置と、を備える臨床検体の測定結果管理システムであって、

前記第1の測定結果管理装置は、

上位のコンピュータから、複数の測定項目を含む第1の測定オーダを受信する第1測定オーダ受信手段と、

前記第1の測定オーダに含まれる測定項目の全てが前記第1の施設において測定可能か否かを判断する判断手段と、

前記第1の施設において測定できない測定不可項目が前記第1の測定オーダに含まれている場合に、前記測定不可項目を含む第2の測定オーダを、前記第2の測定結果管理装置に送信する第2測定オーダ送信手段と、

前記第2の測定オーダに含まれる前記測定不可項目の測定結果を、前記第2の測定結果管理装置から受信する第1測定結果受信手段と、を備え、

前記第2の測定結果管理装置は、

前記第2の測定オーダを受信する第2測定オーダ受信手段と、

前記第2の測定オーダに含まれる前記測定不可項目の測定結果を臨床検体分析装置から受信する第2測定結果受信手段と、

当該測定結果を前記第1の測定結果管理装置に送信する測定結果送信手段と、を備える測定結果管理システム。

【請求項3】

複数の臨床検体分析装置から送信される臨床検体の測定結果を管理する測定結果管理装置であって、

上位のコンピュータから、複数の測定項目を含む第1の測定オーダを受信する第1測定オーダ受信手段と、

前記第1の測定オーダに含まれる測定項目の全てが、前記測定結果管理装置が配置された施設において測定可能か否かを判断する判断手段と、

当該施設において測定できない測定不可項目が前記第1の測定オーダに含まれている場合に、前記測定不可項目を含む第2の測定オーダを、前記測定不可項目の測定が可能な他の施設に配置され、複数の臨床検体分析装置から送信される測定結果を管理する他施設測定結果管理装置に送信する第2測定オーダ送信手段と、

前記測定不可項目の測定結果を、当該他施設測定結果管理装置から受信する測定結果受信手段と、を備える測定結果管理装置。

【請求項4】

前記他の施設の所在地情報を記憶する他施設情報記憶手段と、

前記測定不可項目が前記第1の測定オーダに含まれている場合に、前記他施設情報記憶手段から前記他の施設の所在地情報を抽出する他施設情報抽出手段と、

抽出された前記所在地情報を出力する出力手段と、をさらに備える請求項3記載の測定結果管理装置。

【請求項5】

前記出力手段は、前記測定不可項目が測定される臨床検体を前記他の施設に送付するための容器、または当該容器に貼付されるラベルに、前記所在地情報を印刷するための印刷装置である請求項4記載の測定結果管理装置。

【請求項6】

複数の臨床検体分析装置から送信される測定結果および前記他施設測定結果管理装置から送信される測定結果の受信を待機する測定結果受信待機手段と、

複数の臨床検体分析装置から送信される前記測定結果と、前記他施設測定結果管理装置から送信される前記測定結果とを受信すると、それらの測定結果を前記上位のコンピュータに送信する測定結果送信手段と、をさらに備える請求項3～5のいずれか1項に記載の測定結果管理装置。

【請求項7】

前記測定結果管理装置は、臨床検体を前記複数の臨床検体分析装置に搬送する搬送装置に接続されており、

前記判断手段による判断結果に基づいて、臨床検体の搬送先を前記搬送装置に指示する指示手段をさらに備える請求項3～6のいずれか1項に記載の測定結果管理装置。

【請求項8】

前記判断手段は、前記測定不可項目の測定が可能な臨床検体分析装置が、前記測定結果管理装置が配置された施設に配置されていない場合に、前記第1の測定オーダに含まれる測定項目の少なくとも1つが、前記測定結果管理装置が配置された施設において測定可能

できないと判断する請求項 3 ~ 7 のいずれか1項に記載の測定結果管理装置。

【請求項 9】

前記判断手段は、前記測定不可項目の測定が可能な臨床検体分析装置が故障している場合に、前記第1の測定オーダに含まれる測定項目の少なくとも1つが、前記測定結果管理装置が配置された施設において測定可能できないと判断する請求項 3 ~ 8 のいずれか1項に記載の測定結果管理装置。

【請求項 10】

複数の施設から、前記測定不可項目の測定が可能な前記他の施設を選択する他施設選択手段をさらに備え、

前記第2測定オーダ送信手段は、前記他施設選択手段によって選択された施設に配置された前記他施設測定結果管理装置に前記第2オーダを送信する請求項 3 ~ 9 のいずれか1項に記載の測定結果管理装置。

【請求項 11】

前記測定結果管理装置が配置された施設および前記他の施設は、病院である請求項 3 ~ 10 のいずれか1項に記載の測定結果管理装置。

【請求項 12】

前記測定結果管理装置が配置された施設は病院であり、前記他の施設は検査センターである請求項 3 ~ 10 のいずれか1項に記載の測定結果管理装置。

【請求項 13】

前記測定結果管理装置が配置された施設は病院であり、前記上位のコンピュータは、前記病院の業務を管理するための病院情報管理装置または、前記病院の検査室の業務を管理するための検査室情報管理装置である請求項 3 ~ 12 のいずれか1項に記載の測定結果管理装置。

【請求項 14】

複数の臨床検体分析装置から送信される臨床検体の測定結果を管理する測定結果管理装置であって、

他の施設において測定できない測定不可項目を含む測定オーダを、前記他の施設の測定結果管理装置から受信する測定オーダ受信手段と、

前記測定オーダに含まれる前記測定不可項目の測定結果を、前記測定不可項目の測定が可能な分析装置から受信する測定結果受信手段と、

当該測定結果を前記他の施設の測定結果管理装置に送信する測定結果送信手段と、を備える測定結果管理装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

この発明の第1の局面による臨床検体の測定結果管理方法は、第1の施設において、複数の臨床検体分析装置から送信される臨床検体の測定結果を管理する第1の測定結果管理装置が、上位のコンピュータから、複数の測定項目を含む第1の測定オーダを受信する工程と、前記第1の測定結果管理装置が、前記測定オーダに含まれる測定項目の全てが前記第1の施設において測定可能か否かを判断する工程と、前記第1の施設において測定できない測定不可項目が前記第1の測定オーダに含まれている場合に、前記測定不可項目を含む第2の測定オーダを、前記測定不可項目の測定が可能な第2の施設に配置された第2の測定結果管理装置に送信する工程と、前記第2の施設において、前記第2の測定結果管理装置が、前記第2の測定オーダを受信する工程と、前記第2の施設において、前記第2の測定オーダに含まれる前記測定不可項目を測定する工程と、前記第2の測定結果管理装置から、前記測定不可項目の測定結果を、前記第1の測定結果管理装置に送信する工程と、前記第1の施設において、前記第1の測定結果管理装置が、当該測定結果を受信する工程と、を含

む。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

この発明の第2の局面による臨床検体の測定結果管理システムは、第1の施設に配置され、複数の臨床検体分析装置から送信される臨床検体の測定結果を管理する第1の測定結果管理装置と、第2の施設に配置され、複数の臨床検体分析装置から送信される臨床検体の測定結果を管理する第2の測定結果管理装置と、を備える測定結果管理システムであって、前記第1の測定結果管理装置は、上位のコンピュータから、複数の測定項目を含む第1の測定オーダーを受信する第1測定オーダー受信手段と、前記第1の測定オーダーに含まれる測定項目の全てが前記第1の施設において測定可能か否かを判断する判断手段と、前記第1の施設において測定できない測定不可項目が前記第1の測定オーダーに含まれている場合に、前記測定不可項目を含む第2の測定オーダーを、前記第2の測定結果管理装置に送信する第2測定オーダー送信手段と、前記第2の測定オーダーに含まれる前記測定不可項目の測定結果を、前記第2の測定結果管理装置から受信する第1測定結果受信手段と、を備え、前記第2の測定結果管理装置は、前記第2の測定オーダーを受信する第2測定オーダー受信手段と、前記第2の測定オーダーに含まれる前記測定不可項目の測定結果を臨床検体分析装置から受信する第2測定結果受信手段と、当該測定結果を前記第1の測定結果管理装置に送信する測定結果送信手段と、を備える。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

この発明の第3の局面による測定結果管理装置は、複数の臨床検体分析装置から送信される臨床検体の測定結果を管理する測定結果管理装置であって、上位のコンピュータから、複数の測定項目を含む第1の測定オーダーを受信する第1測定オーダー受信手段と、前記第1の測定オーダーに含まれる測定項目の全てが、前記測定結果管理装置が配置された施設において測定可能か否かを判断する判断手段と、当該施設において測定できない測定不可項目が前記第1の測定オーダーに含まれている場合に、前記測定不可項目を含む第2の測定オーダーを、前記測定不可項目の測定が可能な他の施設に配置され、複数の臨床検体分析装置から送信される測定結果を管理する他施設測定結果管理装置に送信する第2測定オーダー送信手段と、前記測定不可項目の測定結果を、当該他施設測定結果管理装置から受信する測定結果受信手段と、を備える。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

この場合、前記出力手段は、前記測定不可項目が測定される臨床検体を前記他の施設に送付するための容器、または当該容器に貼付されるラベルに、前記所在地情報を印刷するための印刷装置であってもよい。測定結果管理装置をこのように構成することにより、臨床検体の送付先が臨床検体を収容する容器またはラベルに自動的に印刷されるので、検査技師が臨床検体の送付先を記載する必要がなくなる。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0015】

第3の局面による測定結果管理装置において、複数の臨床検体分析装置から送信される測定結果および前記他施設測定結果管理装置から送信される測定結果の受信を待機する測定結果受信待機手段と、複数の臨床検体分析装置から送信される前記測定結果と、前記他施設測定結果管理装置から送信される前記測定結果とを受信すると、それらの測定結果を前記上位のコンピュータに送信する測定結果送信手段と、をさらに備えてもよい。複数の臨床検体分析装置から送信される測定結果および前記他施設測定結果管理装置から送信される測定結果の受信を待機することにより、これらの測定結果をまとめて1度に上位のコンピュータに送信することができるので、測定結果管理装置および上位のコンピュータによる測定結果の送受信処理が簡略化される。

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0016】

第3の局面による測定結果管理装置において、前記測定結果管理装置は、臨床検体を前記複数の臨床検体分析装置に搬送する搬送装置に接続されており、前記判断手段による判断結果に基づいて、臨床検体の搬送先を前記搬送装置に指示する指示手段をさらに備えてもよい。測定結果管理装置をこのように構成することにより、他施設への送付が必要な臨床検体を、他の臨床検体から自動的に仕分けることが可能となる。

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0017】

第3の局面による測定結果管理装置において、前記判断手段は、前記測定不可項目の測定が可能な臨床検体分析装置が、前記測定結果管理装置が配置された施設に配置されていない場合に、前記第1の測定オーダに含まれる測定項目の少なくとも1つが、前記測定結果管理装置が配置された施設において測定可能できないと判断してもよい。測定結果管理装置をこのように構成することにより、前記測定不可項目の測定が可能な臨床検体分析装置が、前記測定結果管理装置が配置された施設に配置されていない場合の他の施設への検査の依頼業務が効率化される。

【手続補正9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0018】

第3の局面による測定結果管理装置において、前記判断手段は、前記測定不可項目の測定が可能な臨床検体分析装置が故障している場合に、前記第1の測定オーダに含まれる測定項目の少なくとも1つが、前記測定結果管理装置が配置された施設において測定可能できないと判断してもよい。測定結果管理装置をこのように構成することにより、臨床検体分析装置が故障して他の施設に検査を依頼する必要がある場合の、他の施設への検査の依頼業務が効率化される。

第3の局面による測定結果管理装置において、複数の施設から、前記測定不可項目の測定が可能な前記他の施設を選択する他施設選択手段をさらに備え、前記第2測定オーダー送信手段は、前記他施設選択手段によって選択された施設に配置された前記他施設測定結果管理装置に前記第2オーダーを送信してもよい。測定結果管理装置をこのように構成することにより、検査を依頼する施設を自動的に決定することができるので、検査技師が検査を依頼する施設を決定する必要がなくなり、他の施設への検査の依頼業務が効率化される。

【手続補正10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0020

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0020】

この発明の第4の局面による測定結果管理装置は、複数の臨床検体分析装置から送信される測定結果を管理する測定結果管理装置であって、他の施設において測定できない測定不可項目を含む測定オーダーを、前記他の施設の測定結果管理装置から受信する測定オーダー受信手段と、前記測定オーダーに含まれる前記測定不可項目の測定結果を、前記測定不可項目の測定が可能な分析装置から受信する測定結果受信手段と、当該測定結果を前記他の施設の測定結果管理装置に送信する測定結果送信手段と、を備える。